

# 寸言

株式会社東京ビッグサイト  
代表取締役常務取締役

及川 繁巳



## 「2016年国際航空宇宙展(JA2016)」の成功に向けて

すでにご紹介をいただいておりますが、この度「2016年国際航空宇宙展（JA2016）」を一般社団法人日本航空宇宙工業会と共同主催させていただくことになりました株式会社東京ビッグサイトの及川でございます。今回、本誌への寄稿をさせていただく機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

弊社は、日本最大の総合コンベンション施設である東京ビッグサイトの管理・運営と各種展示会の主催事業を行うとともに、有明・青海地区にある3つのビルを運営しております。

東京ビッグサイトは、前身である晴海見本市会場を江東区有明に移転し、1996年4月に開業いたしました。以来、数多くの見本市・展示会等の会場としてご利用をいただき、平成25年度には302件の展示会が開催され、1,500万人を超える来場者を迎えました。

また、2020年に開催される東京オリンピックでは、国際放送センターとメインプレスセンター及び競技会場の1つとして利用されることが決定しております。

今後も安全・安心・快適な環境づくりに取り組み、展示会や催しを成功に導く最高のステージを提供し続けていく所存です。

弊社では「展示会ビジネスを主体に事業を展開し、産業振興に寄与するとともに社会貢献する」という経営理念のもと、前述の通り展示会の主催・運営事業を展開しております。

代表的な主催事業として、「日本国際工作機械見本市（JIMTOF）」が挙げられます。隔年で開催している本展は、東京ビッグサイト全館を利用し、国内では最大規模のBtoBの見本市となっております。この他、今年10回目を迎える「危機管理産業展」など4つの主催事業を実施し、2011年からは「東京モーターショー」の運營業務を一部受託しています。

さて、日本の航空宇宙産業は、約50年ぶりの国産ジェット機である「三菱リージョナルジェット（MRJ）」の開発、新型基幹ロケットの開発など多くの明るいニュースが取り上げられ、多くの行政機関が次世代の重点産業として注目し、施策を打ち出しております。

このような状況において、JA2016を日本航空宇宙工業会と共同で主催させていただくことは大変光栄に存じます。

16年ぶりの東京での開催となりますが、東京開催は中央省庁からの容易なアクセス、多くの企業の本社機能が集積していることによるビジネスの活性化、海外を含む出展者や来場者の利便性といった様々なメリットがあります。

弊社が長年培ってきた展示会運営ノウハウを活用することで、こうしたメリットを関係者の皆様に最大限ご享受いただき、JA2016の成功につなげていきたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。